

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 社会福祉法人気づき 思いやり保育

公表日 2025年 5月 7日

利用児童数 18名

回収数 16名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16				
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	14		2		事業所内の様子を見て頂けるよう、年に4回の保護者参観・親子製作等を行っています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16				
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16				
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16				
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16				
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16				
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	16				
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16				
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15			1	松戸市の重心児連絡協議会にて保護者の参加型の研修等を企画しており、参加して頂けるようお声掛けしています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	16				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	16				

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16					
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	15			1		毎月お便りの発行を行っています。HPの更新がなかなか進まずご迷惑をおかけして申し訳ありません。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14			2		作成したマニュアル等を皆様に周知して頂けるよう掲載場所を検討します。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14			2		避難訓練の開催日に関しては、毎月発行しているお便りに記載させて頂いています。今後は口頭でもお知らせしていきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14			2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15			1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	16					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	15			1	・嫌がったり泣くことはない(通所に関して)と感じているので、楽しみにしています。	ありがとうございます。今後も楽しく過ごしていただけるようたくさんのイベントや療育内容等を検討していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	16				・子どものケアはもちろん、家族に対しての説明や情報提供・共有、接し方等とても満足しています。	ありがとうございます。今後も保護者の方と情報共有をおこない安心してご利用して頂けるようスタッフ一同邁進してまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		社会福祉法人気づき 思いやり保育		公表日		2025年 5月 7日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	1	デバイスの多い児童や重症度の高い児童は布団の位置など職員の目の届きやすい場所にし変化に気づきやすいよう対応している	コンセントと注入棒等の数が足りていないと感じる時もある。活動範囲が広い子と臥床の子と一緒に過ごしているため、危険なよう配慮が必要。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10		職員の休みや医療ケアの多い児童が多く登園する日は他事業所からのヘルプや非常勤職員の出動調整をおこなっています。	ケアが多く、また状態の変化を起こすこともあるので、もう少し配置数が必要。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10		浴室にはリフトを設置しており安全に支援が行えるようにしている。活動場所にはエアレックスをひき、クッション性や安全性を配慮しています。	水道の位置や向き、機能性が子どもにも使いやすいものだと良い。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	1	感染予防のため毎日清掃/消毒を行い清潔な環境を心がけています。また月に1度他事業所合同の感染委員会を開催しています。	家庭的な雰囲気や落ち着けるとの考え、エアコン・暖房器具はもう少し快適に調節できるものが良い。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9	1	必要時カンファレンスを行い情報共有をおこなっている。	定期的なカンファレンスを行う事が習慣化すると良いと思う。ミーティング等で振り返りは行っているが、目標設定の具体化と明確化の共通認識がもう少し必要。	
	6	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		保護者の方からの意見や情報は、すぐに共有するが申し送りノートに記載または貼付し共有を行い可能な限り改善できるよう努めています。	一部の人が情報を知らないという事が多々あると感じている。申し送りノートの活用により改善したら良いと思う。	
	7	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		適宜面談をおこなっている。	利用児童の関係上面談が定期的に行っていない。次年度は他事業所の職員のヘルプを依頼し定期的な面談を行えるよう努めていきます。	
	8	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10		月に1度社内研修をおこなっています。内容は研修委員会が検討しYouTubeでの研修や外部講師を依頼し研修をおこなっています。		
適切な支援の提供	9	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10		ホームページ内に公表しています。		
	10	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10		半年に1度モニタリングを行い、児童や保護者の方のご意見や希望等を取り入れて計画作成をおこなっています。		
	11	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	1	利用児童の関係上、職員全員でカンファレンスが難しいため必要時参加できる職員で行い、その他はカンファレンスノートにて共有しています。	・児童に対するカンファレンス等は行われていない為、職員共通の理解を持てるようにしていきたい。	
	12	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	1	作成し保護者の方にサインを頂いたものを共有しています。	・自ラすんで支援計画を確認する必要がある為、職員間で共有できているのが不明である。	
	15	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10		各職種の視点で意見を出し合い、児童の状況に合わせた関りができるよう話し合っています。		
	16	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	1	季節の活動を取り入れたり、発達段階に応じたプログラムを立案し固定化しないよう努めています		
	17	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9	1	利用児童の特性や発達段階に応じ、また個別のニーズを踏まえて個別支援計画の作成と支援に努めています。	・自分自身が児童発達支援計画の中身を全て把握できていない為、何とも言いえない。	
18	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	3	朝の会のあとに小ミーティングを行い当日の利用児童の状況・注意点・支援内容や役割分担を確認しています。	・行事等は事前打ち合わせができていない為、意図がわからない事も多々あるため声掛けを行って明確にしていきたい。		
19	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10		支援中でも速やかに共有しなければならない事項に関しては、お互いに声掛けし共有するようにしています。	・行事等は振り返りを行っていない為、日々の振り返りは行っていない為、時間を確保していきたい。		

	20	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10		各利用児の支援記録用紙への記載と個別の送りノートへ気づいたこと、申し送り事項等共通理解できるようにノートを活用し次の支援に繋げられるよう努めています。	
	21	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10		半年に1度モニタリングを行い個別支援計画の見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携	22	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10		適任者を選んで出席しています。	
	23	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10		訪問看護師や相談支援員などへの状況報告を行い、必要時臨時で訪問看護を依頼するなど連携した支援を行っています。また必要時は主治医へ連絡を行い、児童の情報共有に努めています。	
	24	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	1	対象児童が在籍した際には努めていきたいと思えます。	・移行に向けた支援を行えているのか判断できず何とも言えない。
	25	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10		小学部へ入学する前、支援学校の先生と話し合いの時間を設け、入学後の支援がスムーズに行えるよう情報共有を行っています。	
	26	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	10		必要時発達センターと連携を図り助言等をいただいています。	
	27	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	10		年に3回程度交流の機会を設けています。またその他に月に1度の合同朝の会で親睦を深めています。	
	28	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10		自宅での様子は、送迎時に保護者に確認を行っています。また利用時の様子や気づいた点はお迎え時に報告し共有するようにしています。	
	29	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	1	個別的なプログラムは実践できていませんが、保護者会を通して同じ悩みや不安に思っていることなど情報交換の場の提供は行っています。	・家族支援プログラムや研修等は行えていない。保護者交流会は設けている為、回数等も検討していきたい。
	30	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10		契約時に説明し承いただいています。利用者負担が変更になった場合はその都度お知らせしています。	
保護者への説明等	31	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10		作成前に面談や書面等で、保護者と利用児童の意向を確認し作成しています。	
	33	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10		年2回の保護者会の開催、年に4回の親子製作や親子参観を実施し、すべての職員が保護者の方とお話や相談を受ける機会を設けています。	・今後も常に自分の知識をアップデートし、偏った知識・助言とならないように注意していきたい。
	34	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	10		年2回の保護者会の開催、年に4回の親子製作や親子参観を実施しています。親子製作につきましては、ごきょうだいの参加も可能とさせて頂いています。	・親子制作や保護者会を開催している為、今後も続けていきたい。
	35	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10		ご相談を受けた際は速やかに対応するよう心がけています。	
	36	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10		毎月「キッズ便り」の発行を行っています。	・HPやSNSは活用できていない為、保護者のニーズに合わせて活用も検討していきたい。
	37	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10		氏名・顔写真などの使用に関しては同意を頂いた方のみ使用させていただいています。また、個人情報等が記載された書類などは鍵付きのキャビネットにて保管しています。	
	38	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10		行動や言葉・表情やしぐさなど、児童それぞれの意思表示を職員間で共有しています。	

	39	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	10		看護小規模多機能をご利用の皆様とハロウィンパーティー等と一緒にしています。	
非常時等の対応	40	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	2	避難訓練は年2回行っています。	もう少し具体的に周知することや実際の訓練方法(回数も含め)は検討していきます。
	41	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	1	BCPの策定と定期的な研修を行っています。	定期的な訓練・シミュレーション等、対応の共通認識が具体的にもう少し検討していきたいと思います。
	42	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10		ご利用開始前に確認させていただき、緊急時必要な薬剤をお預かりしています。また定期的な内容を確認させていただいています。	
	43	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10		ご利用開始前に確認させていただいています。その時の体調によってアレルギーを起こしやすくなることもあるため、食事に関しては全てご持参いただいています。	
	44	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	2		・安全管理に必要な指導は受け、安全管理も行えているが、安全計画を周知しやすい場所に掲示していきます。
	45	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	2		・家族との連携は図れていると思うが、安全計画が周知されるよう掲示場所を検討していきます。
	46	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10		毎月、事故対策委員会に参加し再発防止に向けた方策を検討しています。	
	47	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10		毎月、虐待防止委員会・拘束適正化委員会に参加し、年に1度職員向けに研修を行っています。	
48	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	10		文面にてお示しし同意書を頂いています。		